

座間中学校だより



令和5年6月19日

教頭:大西 NO.3

学校ホームページにはカラー版がアップされております。

この6月は、まずは3年生の修学旅行でスタートし、1年生の遠足と2年生の校外学習がその翌週に実施されました。2、3年生については昨年度から準備に取り組み、学習面や係活動など、様々な角度から学年行事を考えながら当日を迎えたことと思います。また、1年生は入学してから間もない中で計画的に準備を進めることが出来ました。さらに今年度初めての定期テストも21日から始まり、3年生は進路説明会や進路講話が行われ、その中で体育祭や文化祭の取り組みもありと毎日が慌ただしく感じられた生徒のみなさんも多かったのではないのでしょうか。様々な活動が続いていく状況で季節の変わり目でもあるので、健康管理もしっかりと出来るとよいと思います。そのためにも規則正しい生活を大人も子どもも心がけ、暑い夏を乗り切れる体力をつけていきましょう。

◆◆◆修学旅行を終えて◆◆◆



今年の修学旅行「全身全霊で和の心を学ぶ」「やわらかい心で臨機応変に行動し、信頼関係を深める」という2つの目標を掲げていました。台風の影響で帰りの新幹線が運休となり、急遽三泊四日の修学旅行となりましたが大きな事故等なく、全員が無事に帰ってくることができました。いろいろ大変な事があったと思いますが、週明けに生徒たちに話を聞くと、「まあ、大変だったけど楽しかった!」と明るく話をしてくれる生徒が多くいました。中には、「私たちより、先生たちの方がずっと駅でも立っていて大変だったと思います。それなのに、にこにこしていてくれて・・・。」というような話をしてくれる生徒もいました。この修学旅行の中で多くの事を考え、学び、大きく成長したことと思います。保護者の方々にもご心配をおかけしました。ご理解ご協力いただきまして、本当にありがとうございました。



座間中学校の歴史 12

◆最後の日光修学旅行◆

「現在修学旅行は関西方面へ二泊三日で行われている。新幹線開通のメリットを十二分に生かし、京都市内を一日自由に班行動するスタイルが主流の現在の修学旅行とは違って、（昭和）三十四年当時は関東周辺に足をのぼすのがやつのことだったようだ。交通手段だけでなく、食糧事情も現在とは比較にのしようもない程厳しいものがあり、お米を持参したという記録が残っている。

（中略）

相武台前に集まった生徒たちは学年みんなで行く旅行に胸をふくらませていた。現在の修学旅行のような班別行動とは違った楽しみや、新しい経験を期待する輝いた眼差しでいっぱいであった。

華厳の滝や東照宮への見学を通して身近かにない自然や歴史的な遺産に触れることができ、あらためてふるさとの座間を考える良い機会になったのではないか。

以来、修学旅行は関西方面に変わったが、目的は今も昔も変わらず、集団としての取り組みや文化や風土を学ぶことにあるようだ。

豊かではない時代の、しかし「かわいい子には旅をさせろ」という故事を実現させた教育の情熱を感じさせられる。

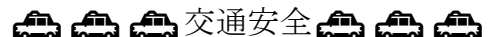


相武台前に集って

座間中学校五十周年記念誌より

◆◇◆地域交流協議会について◆◇◆

座間中学校には、他校にはない地域交流協議会という団体があります。この規約には、「本会は、地域と学校との関係を一層密にし、互いに協力しながら生徒の心身の健全な発達をはかるとともに、会員相互が広く研鑽を深め、地域の教育的環境の整備をはかることを目的とする。」とあります。6日には総会が4年ぶりに開催され、吹奏楽部によるあじさいコンサートも実施されました。コロナの影響もあり、活動もなかなか思うようにいかないこともありました。今年度は学校行事と共に少しずつですが再開される事もあると思います。ご承知おきください。



5月11日（木）から20日（土）まで、春の全国交通安全運動の期間でした。しかし中学生になるとなかなか会話の中に交通安全に関する事があがらなくなるのではないのでしょうか。年度当初の緊張感も薄れがちになる頃だと思います。学校でもクラスや部活動で呼びかけはしておりますが、改めて保護者の方と一緒に交通ルールやマナー、ヘルメット着用の努力義務などについても考える場面を作っていただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

※1年生の遠足、2年生の校外学習については次号で紹介させていただきます。